

指定管理者制度導入施設評価票
評価対象年度【令和7年度】

施設名	秋田県営田沢湖オートキャンプ場	所在地	仙北市田沢湖田沢字湯前63-2
指定管理者	田沢湖高原リフト株式会社	県所管課	観光文化スポーツ部観光戦略課

1 施設の概要														
設置目的	恵まれた自然の中で県民が自由時間を利用して行う観光レクリエーション活動のための利便の増進を図り、ゆとりのある県民生活の実現に寄与するとともに、県内外の交流を促進し、地域の活性化を図る。													
県の施策上の施設の位置付け	人口減少の進行やデジタル技術の進展等のほか、コロナ禍により旅行ニーズの個人化・個性化が一層強まるなど、観光を取り巻く環境が大きく変化している中、自立した稼ぐ観光エリアの形成に向けた地域観光を担う施設													
設置年	2002年	経過年数	24年	目標使用年数	60年	残年数	36年	施設面積	敷地面積46,786.03㎡、延床面積367.07㎡					
施設の設置状況	管理棟、サニタリー棟、炊事棟 など													
県内類似施設	田沢湖キャンプ場（仙北市）、乳頭温泉郷キャンプ場（仙北市）、雁の里ふれあいの森キャンプ場（美郷町）						東北各県類似施設	東北6県多数						
施設の基本的な方針（個別施設計画）	方向性	方向性に向けた対応												
	存続	施設の機能維持と利用者の安全確保のため、設備機器等の計画的な改修・更新を行い施設を存続させる。目標使用年数の到来を見据え、地元自治体への譲渡を含めた施設のあり方を検討する。												
料金制	完全利用料金制	主な料金設定	別紙による											
指定期間	令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日（5年間）						営業期間・時間	4/25～11/4						
指定管理業務の内容	秋田県営田沢湖オートキャンプ場に関する次の業務 ①管理運営業務②施設整備維持管理業務③企画運営業務④事務処理業務						自主事業の内容							
サウンディング実施対象	×	年間利用者数（人）	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	年間利用収入（千円）	R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	
			6,283	6,951	6,358	6,898	6,390		8,444	9,751	8,541	9,676	8,860	
収支決算（千円）	項目		R 3	R 4	R 5	R 6	R 7	増減要因の分析						
	収入	利用料収入	8,444	9,571	8,541	9,676	8,860	年間利用者数	年間利用者数については、県内のクマの出没や記録的豪雨などの悪天候の影響に伴うキャンセルの増加により、前年度比で7.4%の減となった。					
		指定管理料												
		その他収入	1,960	1,684	1,527	1,777	1,471							
		合計	10,404	11,255	10,068	11,453	10,331							
	支出	人件費	4,993	4,944	5,897	6,185	6,398	収支決算	収入については、8月までは芝生や外周の景観改善等の効果もあり利用者が増加していたが、クマの出没の影響が大きく、前年度比で9.8%の減となった。 支出については、最低賃金上昇に伴う人件費の上昇やガス等の燃料費、物価の上昇、クレジット決済導入に伴う手数料の増加、芝刈り機購入などにより、前年度比で9.2%の増となった。					
		光熱水費	847	1,255	1,272	1,087	1,185							
		修繕費	69	275	447	500	271							
		委託料	0	0	0	0	0							
		その他支出	2,720	1,789	1,892	1,917	2,732							
		合計	8,629	8,263	9,508	9,689	10,586							
収支差		1,775	2,992	560	1,764	▲ 255								

指定管理者制度導入施設評価票
評価対象年度【令和7年度】

施設名	秋田県営田沢湖オートキャンプ場	所在地	仙北市田沢湖田沢字湯前63-2
指定管理者	田沢湖高原リフト株式会社	県所管課	観光文化スポーツ部観光戦略課

2 <観点Ⅰ>施設の設置目的（施設の目指す姿）の達成に関する取組

運営方針・施設の利用目標	(R6年度以降に指定管理を開始・更新する施設から基本協定書に定めることとなっているため、それまでは記載不要)					
目標・実績	目標の内容	利用者数 7,500人				
	年度	R5	R6	R7	増減要因の分析	
	目標	7,500	7,300	7,500	県内のクマの出没や雨天などの悪天候によるキャンセルが増加したため、前年度比で7.4%の減となり、目標を達成することができなかった。	
	実績	6,358	6,898	6,390		
	達成率	84.8%	94.5%	85.2%		
	具体的な取組とその効果	地域のアウトドア事業者や観光関連事業者と連携したイベントの実施やクマ出没対策として外周の栗の木の伐採を中心とした緩衝ゾーンを設置するなどの取り組みにより、安全で快適に過ごせる場の提供に努め一定の効果があった。				
次年度の目標	目標の内容	利用者数 7,300人				
	設定の根拠	田沢湖オートキャンプ場の管理に関する基本協定書による				
<観点Ⅰ>評価	評価者	評価	評価コメント（評価基準によらない場合はその理由）			
	指定管理者	B	令和7年度は、クレジット決済の導入によるお客様の利便性の向上、クマの出没対策としての外周の環境整備、キャンプサイト全般の芝生の改善等に努めたが目標は達成できなかったためB評価とする。			
	県所管課	B	クマや豪雨等の影響で目標は未達成となったものの、クマ侵入対策や利便性向上など、誘客と安全確保に真摯に取り組む姿勢が評価できる。今後も効果的な施策による利用者獲得に期待したい。			

3 <観点Ⅱ>施設の有効性（利用者の満足度）の向上に関する取組

利用者満足度の実績	年度	R5	R6	R7	増減要因の分析	
	実績（％）	90.7	90.3	94.6	衛生面や利便性を向上したため増となった。	
	具体的な取組とその効果	炊事棟の水栓をレバー式に交換したことで衛生面の改善をした。また、クレジット決済対応にしたことでお客様の利便性が向上した。				
<観点Ⅱ>評価	評価者	評価	評価コメント（評価基準によらない場合はその理由）			
	指定管理者	A	炊事棟の水栓をレバー式に交換したことやクレジット決済対応にしたことと外周や芝生の環境を改善したことが満足度の上昇につながったためA評価とした。			
	県所管課	A	利用者の視点に立った利便性等の改善や職員の対応がアンケートでも高く評価されており、満足度は昨年より大きく向上した。利用者満足度90％以上の評価が継続されており、利用者本位の管理運営風土が醸成されている。			

指定管理者制度導入施設評価票
評価対象年度【令和7年度】

施設名	秋田県営田沢湖オートキャンプ場	所在地	仙北市田沢湖田沢字潟前63-2
指定管理者	田沢湖高原リフト株式会社	県所管課	観光文化スポーツ部観光戦略課

4 ＜観点Ⅲ＞県民サービス及び業務効率性の向上と公の施設にふさわしい適正な管理運営に関する取組						
モニタリング項目	モニタリング項目		主な視点		指定管理者	県所管課
	管理運営体制	① 職員の配置状況	事業計画書等に照らして適切な職員配置となっているか 等		A	A
		② 職員の勤務実績	事業計画書等に照らして適切な勤務実績となっているか 等		A	A
		③ 職員の処遇等	職員の処遇が労働法規に反していないか 等		A	A
		④ 施設等の適切な管理	事業計画書等に照らして日常的な保守管理や定期点検、清掃、警備、修繕等がなされているか 等		A	A
		⑤ 備品の適切な管理	備品の紛失・損傷はないか 等		B	B
		⑥ 個人情報の保護	個人情報取扱特記事項が遵守されているか 等		A	A
		⑦ 安全・安心の確保	事故防止マニュアルや緊急時連絡体制を整備しているか 等		A	A
		⑧ 経費の低減・収入の増加	経費の低減や収入の増加の取組が進められ、前年度と比較し、施設の収支状況が改善されたか 等		B	B
		⑨ 健全な経営	指定管理者選定時の財務指標と比較し、特段の経営の悪化がみられないか 等		A	A
	サービス向上	① 開館日・開館時間等	事業計画書等に照らして適切な開館状況となっているか 等		A	A
		② 業務の実施	事業計画書等に照らして適切な業務が実施されているか 等		A	A
		③ 施設の使用許可	事業計画書等に照らして適切に使用許可がされているか、優先的又は不利益な取り扱いはないか 等		A	A
		④ 職員の接客	丁寧な対応や挨拶がなされているか、名札着用や適正な服装をしているか 等		A	A
		⑤ 広報・利用情報の発信	ウェブサイトやSNS、パンフレットなど、多様な媒体により積極的な広報を実施しているか 等		A	A
		⑥ 利用者の相談・意見・苦情	ウェブサイトや電話等による相談窓口を整備し、利用者からの相談・意見・苦情への対応策を講じているか 等		A	A
		⑦ 課題への対応	利用状況のほか、満足度調査等から課題を抽出し、対応策を講じているか 等		A	A
＜観点Ⅲ＞評価	評価者	評価	評価コメント（評価基準によらない場合はその理由）			
	指定管理者	A	備品の紛失や施設の大きな損傷等はないが、設備が全体的に老朽化してきており、水回りや電源ボックスの漏電などを適宜修繕し利用者が不便を感じないよう心がけている。収支の面では収入はある程度安定しているが人件費や芝刈り機の入換えや諸材料価格の上昇に伴い、年々経費が増加しており、適切なタイミングでの利用料金の値上げ等収支のバランスに配慮した対応を実施していることなどからA評価とする。			
	県所管課	A	施設の老朽化や経費増加といった課題に対し、適切な保守管理や収支バランスの調整を講じて適正な運営を維持している。引き続き施設の安全を確保しながら、さらなる利用者の獲得に取り組んでもらいたい。			

指定管理者制度導入施設評価票
評価対象年度【令和7年度】

施設名	秋田県営田沢湖オートキャンプ場	所在地	仙北市田沢湖田沢字潟前63-2
指定管理者	田沢湖高原リフト株式会社	県所管課	観光文化スポーツ部観光戦略課

5 県の施策達成に向けた県所管課の施設運営に対する考え方

県の施策の達成状況	仙北市田沢湖エリアのアウトドア観光拠点として利用され、周辺地域への誘客にも寄与している。	
施設運営の課題	設置から25年以上が経過し、施設の老朽化が進んでいる。	
今後の方向性	田沢湖エリアにおけるアウトドア観光拠点として、周辺地域で展開されているアウトドアコンテンツとの連携促進等によりさらなる魅力向上を図っていく必要がある。	

6 外部有識者委員会による評価（提言）

評価(提言) 令和6年度	施設の管理運営状況	・熊の影響は致し方ないところだが、利用者数の目標値を段階的に引き上げている点は評価できる。 ・田沢湖畔には様々なアクティビティのコンテンツがあることから、周辺施設等との連携について要検討。
	県の施策達成に向けた施設運営	・施設として魅力が高く、現状として完全利用料金制で運営していることから、民間譲渡による運営が可能か要検討（民間運営の方がより県の施策達成に向けた効果的な運営が可能となると推察）。
評価(提言)を踏まえた対応方針 令和6年度	指定管理者	・敷地周辺へのクマの出没による利用者の減少はあったが全体としては施設の利用者数は増加傾向にあり、今後、田沢湖エリアでアウトドアコンテンツを提供している事業者やスキー場のグリーンシーズンの取組等と連携しながら利用促進を図っていく。
	県所管課	・今後の施設のあり方について土地所有者の仙北市と意見交換を行っており、効果的な運営方法のほか、敷地内にある遺跡の保存方法や活用策についても併せて検討していきたい。
対応方針の進捗状況 令和7年度	指定管理者	・今年度は栗の木の伐採を実施するなどキャンプ場の外周等を整備しクマの敷地内への侵入はなかった。引続きスキー場のグリーンシーズンの取組みや田沢湖エリアの事業者との連携を図りながら誘客促進に努めていく。
	県所管課	・今後の施設のあり方について土地所有者の仙北市と意見交換を行っており、効果的な運営方法のほか、敷地内にある遺跡の保存方法や活用策についても併せて検討していきたい。